

聖ヨハネ学園訪問
参加者 感想



方がたで立派に運営されている事が良くわかりました。

内部に入って隅々まで見せてもらって、子供から老人までが平和に過ごされている印象を受けました。

家族愛が崩壊して、幼児虐待や老人を介護する若者の減少など日本のこれからの将来は必ずしも明るいものではありません。

老いるという事は病気になり、手足が麻痺し、五感が鈍り、認知症となりやがて生きていくことさえもわからなくなるの

でしょう。百人の老人を介護するために四十人近い方が働いています。家族で介護できない重度の障害がある方にとってはこの施設は神からの贈り物のようでした。

Aさん・ 学園の側に長く住みながら、年1度の「丘のまつり」の見学だけの参加でした。外観からは想像できない内部のあちこちを、説明を受けながら見学させていたでいて有難かったです。親しみを感じました。

Bさん・ 国や高槻市、大阪府の支援を受けたレベルの高い福祉施設でした。職員のかたも経験豊かな

Dさん・ 聖ヨハネ学園の子どもたちが明るく私達を迎えてくれました。

地域生活支援センター光では、どの部屋も明るく、何のにおいも無いのに驚きました。

ミス・ブール記念ホールの入所者は、どの方も穏やかな顔をしておられ、毎日幸せに暮らしておられる様子がよくわかりました。

高齢者入居施設の臭いが全然ないのは、職員の方の心のこもったお世話があればこそと心打たれました。

私も将来、介護を受けなければならぬ時、このような施設で心穏やかに過ごせたらいいなと思

Cさん・ 広くて明るくて幸せそう。私も将来入所したい。こんなに交通の便の良い所はみつかりにくい。戦前住宅地や九

中まで一帯がヨハネの敷地だったんですね。敷地だっただけで、資金の良い施設を作るの資金はな

自然農園では、農薬を使いません。

虫取りも一仕事です。カボチャやスイカが日に日に大きくなるのを目で確認するのも大きな楽しみ

です。S・O

会員だより

「楽しいパッチワーク」

二十数年前、YMCAのクラスメートから声をかけられました。「よくリバイ柄の洋服を着ているけど、オーダー？自作？」と。自分で作ると

言うのとそれらの端布でパッチワーク出来るよ！自分は梅田へ習いに通っている。先生は関東在住でその後「徹子の部屋」に出演された中西一女子



(ひめこ)さん。お名前が続いてリバイプリントで検索すると、

色々な情報や柄と色違いが出てきます。その愛弟子に入門し四人組で始まりました。お互いの布を交換

し、種類も増えて幸せです！写真は思い出の第一作目のテーブルセンターです。



“ごま”を栽培しましょう！“ごま”は、体に必要な

栄養素が小さな粒にギューツと詰まっています。中国では「食べる丸薬」と言われています。

植物性食品のなかではその栄養価はトップレベルな

のです。栽培には、あまり培地を選ばず、また手間もそれほどかかるとなく栽培できます。

丈は約1mになり、葉腋に薄い色の綺麗な花をつけ、実の中に多数の種子を含む。その上、短い期間に収穫出来ます。

5月から6月頃、畦に二条まきする。発芽適温は20度から30度で、適当な水分と温度とがあれば容易に発芽する。

2回程度間引きを行い、株間を開ける。収穫は9月頃です。日本で使用されるゴマは、その99.9%を輸入に頼っている。S・O



ふるさと農園

7月の農園
夏野菜の収穫！

7月の農園は、夏野菜のトマト・キュウリ・ピーマンやナスの収穫の最盛期で、目が離せません。草の生長も旺盛で、梅雨の時期でもあるので全身汗をかきながらの除草の時期でもあるのです。